



校長室だより～湘南の空～

第 31 号

令和 6 年 1 月 31 日

今年度も残すところ 2 か月、生徒の皆さんは日々の勉強、学校行事の準備、部活動等に打ち込んでいることと思う。3 年生は、全体として、共通テストでも健闘した。湘南生の終盤の学力の伸びは日本一である。自分を信じてとことんやり抜いてほしい。湘南生はますます輝いているという印象だ。皆さんの今後の挑戦を楽しみにしている。

湘南は生徒が互いの美点を見だし、タイミングをみて背中を押すなど自分のやりたい道を見つけてとことんやってみることを良き伝統としてきた。生徒の皆さんは様々な分野から世界を動かすに違いない。

「組織と組織の境界近く、グレー領域」で仕掛けると、糸口が見えてくる

昨年の 12 月、2018 年から 2022 年にかけて、経済産業省サービス政策課長（兼）教育産業室長として、学校 1 人 1 台 PC 環境を土台にした個別最適・学際探究（STEAM：Science、Technology、Engineering、Art、Mathematics を組み合わせた教育）の学び方改革を推進した浅野大介氏を招き、経産省「未来の教室」プロジェクトや文科省「GIGA スクール構想」（Global and Innovation Gateway for All）に関する話を伺った。

浅野氏は「組織と組織の境界近く、グレー領域」で仕掛けると、糸口が見えてくるという。経済産業省が所管する教育産業と文部科学省が所管する学校の境界近くのグレー領域で仕掛ければ面白いことができるという発想で、「省内起業」ともいうべき教育産業室で取り組みを進めた。

一人の生徒の中で新たな境界とグレー領域をもたらす学びは糸口となって、好奇心をもって楽しく手繰り寄せ、広げ深め続けることができる。これが「GIGA スクール構想」の個別最適な学びの理念である。また、生徒同士が学びを共有することで新たな境界とグレー領域を生み、別の視点が生まれる。そして、開かれた組織同士が知見を共有することで新たな境界とグレー領域が生まれ、新たな組織が動き出す。

経済産業省において「やらなくても良かったかもしれない」教育に境界から参入し、大きな変革をもたらした浅野氏は、2023 年より農林水産省に出向しグローバル・サウス担当として、中南米・インド・アフリカとの「食の通商と経済協力」、ウクライナ農業復興の企画を推進している。

浅野氏の生き方は、最も困難な道に挑戦する湘南の精神に通じるところがあるのではないかと。湘南生の可能性は無限に広がっている。

子育ては最高のキャリア

より良い未来を築くヒントは、子育てにあり——。会社経営者の天野紹子さん（48回）が自身の経験を基にした「子育ては最高のキャリア、最高のウェルビーイング」を出版した。2023年12月3日、湘友会平塚支部総会でこのことについて話を伺う機会を得た。女性の社会進出を歓迎する一方、結婚や出産を選ばない人が増えていることに対して一石を投じる内容で「特に若い人や子育て中の女性に手に取ってもらえたら」と話している。天野さんは、現在は税理士法人を統括する「レガシマネジメントグループ」（東京都中央区）のCOO（最高執行責任者）を務める。

人事制度改革や生産体制の強化などに取り組み、6年間で会社の売り上げを3倍にした実績を持つが、実はビジネスの世界に入ったのは50歳を過ぎてから。それまでは3人の子を育てる専業主婦だった。

一見希薄に思える子育てとビジネスの関係性だが、天野さんは「子育ての経験で仕事に生きるスキルは多い」と指摘。「例えば時間管理や複数の仕事を同時にこなす能力。いずれも子育てには不可欠で、仕事でも必要。子育ては仕事のブランク（空白の期間）ではない」と自身の経験を踏まえて説明する。

この本を推薦する慶應義塾大学大学院の前野隆司教授は、著書『実践 ポジティブ心理学 幸せのサイエンス』（PHP研究所）で、日本人1500人を対象に行なった調査から、幸せにつながる4つの因子を発見したと書いている。

第1因子＝「やってみよう！」因子（自己実現と成長の因子）

コンピタンス（私は有能である）、社会の要請（私は社会の要請に込んでいる）、個人的成長（人生が学習や成長に満ちている）、自己実現（今の自分になりたかった自分である）という項目と関連性が深い因子。

第2因子＝「ありがとう！」因子（つながりと感謝の因子）

人を喜ばせることや愛情、感謝、親切、他者との心の通う関係が幸せに寄与することを示していて、まわりとの安定した関係を目指す因子。

第3因子＝「なんとかなる！」因子（前向きと楽観の因子）

楽観性、気持ちの切り替え、積極的な他者関係、自己受容（自分は人生で多くのことを達成してきた）といった項目との関連性が深いとされる因子。

第4因子＝「ありのままに！」因子（独立とあなたらしさの因子）

自分と他者とを比較しないことが重要で、他人の目を気にせず、制約にもとらわれずに自分らしさをはっきり持っている人が幸せを感じやすいとされる因子。

生徒の皆さんは引き続き目先の結果にとらわれず、応援してくださる方の笑顔や未来の社会を想像して突き進んでいただきたい。「根拠のない自信」は、切磋琢磨する中で、天分を発揮し続けられるという「喜び」に変わるのである。